

宅地造成等又は特定盛土等に関する工事の許可申請書 記入例

様式第二

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の許可申請書

宅地造成及び特定盛土等規制法 申請します。 令和〇年〇月〇日 佐賀県知事 殿 申請者 氏名 株式会社〇〇建設 代表取締役〇〇		※手数料欄		
1	工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇号 株式会社〇〇建設 (〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇号 代表取締役〇〇)		
2	設計者住所氏名	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇号 株式会社〇〇設計 〇〇		
3	工事施行者住所氏名	〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇号 株式会社〇〇建設 代表取締役〇〇		
4	土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	佐賀県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇号 (緯度: 〇〇度〇〇分〇〇.〇秒、 経度: 〇〇度〇〇分〇〇.〇秒)		
5	土地の面積	600.0 平方メートル		
6	工事着手前の土地利用状況	農地		
7	工事完了後の土地利用	宅地		
8	盛土のタイプ	平地盛土、 腹付け盛土 、谷埋め盛土		
9	土地の地形	溪流等への該当 有 無		
10	イ 盛土又は切土の高さ	2.5 メートル		
		ロ 盛土又は切土をする土地の面積	500.0 平方メートル	
	ハ 盛土又は切土の土量	盛土	300.5 立方メートル	
		切土	6.5 立方メートル	
	ニ 擁壁	番号	構造	高さ 延長
		1	RC	3.0メートル 8.0メートル
	ホ 崖面崩壊防止施設	番号	種類	高さ 延長
				メートル メートル
	ヘ 排水施設	番号	種類	内法寸法 延長
		1	U型側溝	30センチメートル 30メートル
11	ト 崖面の保護の方法	擁壁(コンクリート造)		
	チ 崖面以外の地表面の保護の方法	崖の反対方向に排水勾配を設定		
	リ 工事中の危害防止のための措置	・工事中は仮囲いを設ける ・工事車両について交通誘導員を配置		
	ヌ その他の措置	なし		
	ル 工事着手予定年月日	令和〇年〇月〇日		
	ロ 工事完了予定年月日	令和〇年〇月〇日		
	ワ 工程の概要	〇月仮設工 〇月擁壁工 〇月盛土工		
その他必要な事項 農地転用許可、道路占用許可、林地開発許可				
※受付欄		※許可に当たって付した条件		
年月日	※決裁欄	年月日	※許可番号欄	
第 号		第 号		
係員氏名		係員氏名		
〔注意〕				
1 ※印のある欄は記入しないでください。				
2 申請者、1欄の工事主、2欄の設計者又は3欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。				
3 1欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。				
4 2欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含むときは、氏名の横に〇印を付してください。				
5 3欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。				
6 4欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。				
7 8欄は、該当する盛土のタイプに〇印を付してください(複数選択可)。				
8 9欄は、溪流等(令第7条第2項第2号に規定する土地をいう。)への該当の有無のいずれかに〇印を付してください。				
9 11欄は、宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。				

佐賀県は第30条第1項(特定盛土等規制区域)のみ

<申請者氏名> 個人の場合は氏名 法人の場合は法人名及び代表者名記載
※記載事項確認のため、連絡先・担当者名を記載

<工事主住所氏名>
個人の場合は住所・氏名
法人の場合は株式会社における取締役など、法人の業務を執行する者及び事業について決定権を持つ者の住所・氏名をすべて記載

<設計者住所氏名>
個人の場合は住所・氏名 法人の場合は所在地、法人名及び設計者名を記載
「資格を有する者の設計によらなければならない工事」を含むときは、氏名の横に〇印

<工事施行者住所氏名>
個人の場合は住所・氏名 法人の場合は所在地、法人名及び代表者名を記載
未定のときは、「許可後決定予定」と記載後、後日、工事着手前に書面で提出してください(任意様式)

<土地の所在地及び地番>
申請地内のすべての地番を記入、入らない場合は別紙で提出
【緯度・経度】地理院地図(電子国土WEB)等で座標を確認
(世界測地系60進法で少数点以下第1位まで記載)

<土地の面積> 盛土・切土を行わない部分や法面も含む土地の総面積
小数点第2位を四捨五入し、小数点以下第1位まで記載

<工事着手前の土地利用状況> 工事着手前の土地利用状況を記載

<工事完了後の土地利用> 工事完了後の土地利用を記載

<盛土のタイプ> 該当する盛土のタイプに〇(複数可)
①平地盛土: 勾配1/10以下の土地で行う盛土
②腹付け盛土: 勾配1/10超の土地で行う盛土
③谷埋め盛土: 谷や沢を埋め立てを行う盛土
※現場が切土のみの場合は記入不要

<土地の地形> 溪流等への該当の有無のいずれかを〇で選択

<盛土又は切土の高さ>
盛土又は切土によりできる最大の高さ(標高差)を記入

<盛土又は切土の土地の面積>
盛土又は切土を行っている範囲の土地の面積を記入

<盛土又は切土の土量> 盛土又は切土の土量を記入

<擁壁・崖面崩壊防止施設・排水施設> 数が多い場合は別紙に記載

<崖面の保護の方法> 擁壁、崖面崩壊防止施設の設置について記載

<崖面以外の地表面の保護の方法>
法面緑化工やコンクリート張工などの方法を記載

<工事中の危害防止のための措置>
仮囲いの設置や仮排水工、法面保護工等の実施の概要について記載

<その他の措置>
他の欄に記載しているものに他に特筆すべき措置を実施する場合記載

<工事着手予定年月日> 工事に着手する予定の年月日を記載
(許可までの期間を十分確保してください)

<工事完了予定年月日> 工事を完了する予定の年月日を記載

<工程の概要> 工種が多い場合は工程表を作成

<その他必要な事項>
他法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記載